

令和7年3月21日  
北九州市都市ブランド創造局

報道機関各位

## 重要文化財指定の答申について

国の文化審議会（会長 しまたに ひろゆき 島谷 弘幸）が、令和7年3月21日（金）に開催され、同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、新たに4件の美術工芸品を国宝に、42件の美術工芸品を重要文化財に指定することについて、文部科学大臣に答申する予定です。

本市からは、「伊能忠敬測量図（実測輿地図）」が重要文化財指定の答申を受ける予定です。

### 【重要文化財（歴史資料）】

いのうただたかそくりょうず じっそくよちず  
伊能忠敬測量図（実測輿地図）

3 鋪

#### 【問合せ先】

都市ブランド創造局 文化企画課

担当：楠本、橋本

連絡先：093-582-2391

## 【重要文化財（歴史資料）】

### （１）名称

いのうただたかそくりょうず じっそくよちず  
伊能忠敬測量図（実測輿地図） 3 鋪

### （２）所有者

株式会社ゼンリン（ゼンリンミュージアム保管）  
福岡県北九州市戸畑区中原新町3-1

### （３）法量

省略

### （４）時代

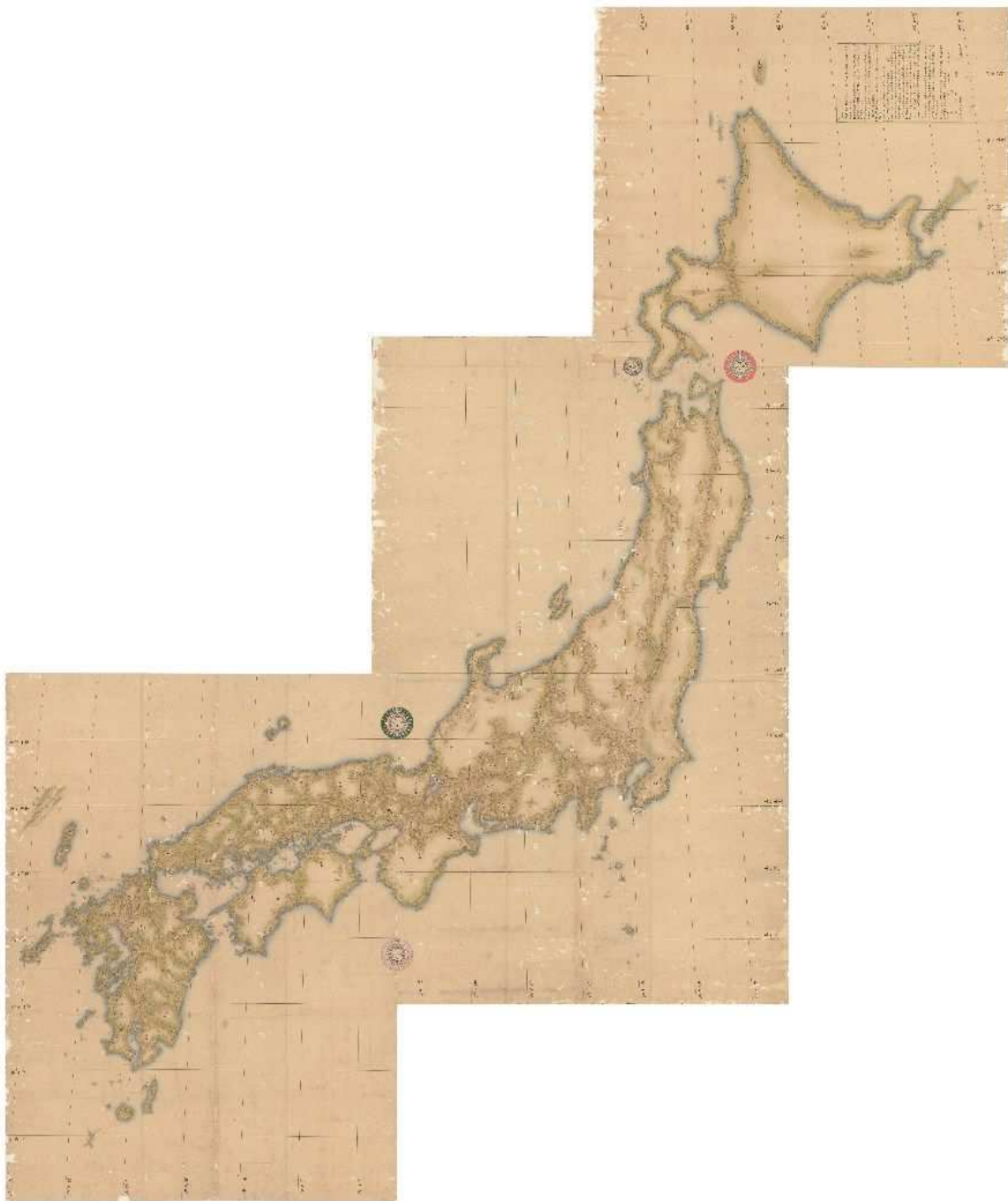
江戸時代

### （５）解説

19世紀前半、伊能忠敬（1745～1818）率いる測量隊は、10次にわたる全国測量を行い、精度の高い日本地図を作製した。忠敬は、測量結果を段階的に地図化していくなかで地図の精度を向上させ、地図は最終的には忠敬没後の文政4年（1821）に「大日本沿海輿地全図」として完成し、幕府に献上された。

本件は、「実測輿地図」と当初の題簽をもつ最終版伊能図（小図、縮尺1/432,000）で、3鋪で日本全体をあらわす。最終版伊能図の小図は、昌平坂学問所伝来の地図（東京国立博物館蔵、重要文化財）に次ぎ2例目となる。本地図は針孔、白径（圧痕による下書線）を有し丁寧な描写態度がみられ、地名や地物が旧昌平坂学問所本とほぼ一致することから、文政4年頃に作製され、大名家か幕閣に献上された地図と推測される。類例稀な「大日本沿海輿地全図」（小図）として測量史、地図史上に重要である。

(6) 文化財写真



伊能忠敬測量図（実測輿地図）

●北九州市の指定・登録・選択文化財件数一覧 (今回答申後)

種 別	国指定文化財 (件)	県指定文化財 (件)	市指定文化財 (件)	合 計 (件)	
有形文化財	建 造 物	6	4	8	18
	絵 画	0	5	2	7
	彫 刻	0	4	6	10
	工 芸 品	0	8	7	15
	書跡・典籍・古書	0	1	10	11
	歴 史 資 料	2	0	0	2
	考 古 資 料	1	2	15	18
有形民俗文化財	0	10	7	17	
無形民俗文化財	3	6	13	22	
史 跡	0	7	13	20	
天 然 記 念 物	3	6	0	9	
合 計	15	53	81	149	

種 別	国登録文化財 (件)			合計 (件)
建造物	31			31

種 別	国選択文化財 (件)			合計 (件)
無形民俗文化財	1			1

●北九州市の国指定文化財【指定順、今回答申前】

- |    |              |               |
|----|--------------|---------------|
| 1  | 千仏鍾乳洞        | (昭和10年12月24日) |
| 2  | 平尾台          | (昭和27年11月22日) |
| 3  | 夜宮の大珪化木      | (昭和32年 2月22日) |
| 4  | 旧松本家住宅       | (昭和47年 5月15日) |
| 5  | 戸畑祇園大山笠行事    | (昭和55年 1月28日) |
| 6  | 門司港駅 (旧門司駅)  | (昭和63年12月19日) |
| 7  | 旧門司三井倶楽部     | (平成 2年 3月19日) |
| 8  | 南河内橋         | (平成18年12月19日) |
| 9  | 豊前神楽         | (平成28年 3月 2日) |
| 10 | 銅矛           | (平成28年 8月17日) |
| 11 | 小倉祇園祭の小倉祇園太鼓 | (平成31年 3月28日) |
| 12 | 部埼灯台         | (令和 2年12月23日) |
| 13 | 若戸大橋         | (令和 4年 2月 9日) |
| 14 | キハ四二〇五五号気動車  | (令和 4年 3月22日) |

文化財の体系図

